

12月16日（火）、臨床研修医向け総合講座として、及川医事課長による講義では、保険診療の法的枠組みから診療報酬請求の実務、DPC 制度の包括評価まで体系的に解説されました。

健康保険法に基づく保険医療機関の義務、診療報酬点数表の構造、診療録記載義務と監査リスクなど、医療現場で遵守すべき重要事項を再確認する内容でした。

研修医からは「入院後の検査が包括評価になる理由」や「外来検査との算定差異」について質問があり、DPC では入院期間を 3 期に区分し、医療資源投入量に応じた定額点数で管理する仕組みが説明されました。

さらに、出来高算定との併用範囲、包括評価対象外のケース、診断群分類のコード変更要件など、請求精度と病院経営に直結する高度な知識も取り上げられ、研修医にとって非常に有意義な学びの時間となりました。

